

「第3次鹿児島県食の安心・安全推進基本計画」に基づく施策の実施状況（令和7年度）

1 農場から食卓までの安全管理の徹底を通じた食品の安全性の向上

（1）農林水産物の生産段階における安心・安全確保対策

ア 自主的な生産工程管理の取組の促進

① かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）の充実・普及

【輸出・ブランド戦略室、農産園芸課、畜産振興課、森林経営課、水産振興課】

令和8年3月末現在の認証件数：267件（65品目、219団体・個人等）

（ア）生産者への普及・啓発

各地域振興局・支庁が主体となって、生産者等へ認証制度の周知と取得に向けた推進指導を随時実施

（イ）普及指導員によるGAP実践指導

- ・生産者に対するGAP導入及び認証取得のための実践指導の実施
- ・普及指導員のGAP指導技術向上のための研修受講 16名
- ・国際水準GAPガイドライン研修 1名受講

（ウ）認証基準の見直し

- ・国が定める「国際水準GAPガイドライン」に準拠した新基準に見直し

② 国際認証GAP等への取組支援

【輸出・ブランド戦略室、畜産振興課、水産振興課】

（ア）各種認証制度についての情報収集、生産者への周知・普及

（イ）認証取得を支援する指導員の育成及び確保 40名（うち県16名、JA24名）

（ウ）農業教育機関における国際水準GAPの認証取得支援 2校

イ 生産資材、動物・水産用医薬品等の適正使用及び監視指導等の充実

③ 農薬の適正使用の推進【経営技術課】

（ア）農薬指導士の養成

農薬指導士養成研修会等 ※令和8年3月末現在の農薬指導士：1,466人
（うち令和7年度の新規認定73人）

時 期	場 所	内 容	参加者数
8月1日	鹿児島市	○農薬指導士養成研修会 ・農薬取締法について ・毒物及び劇物取締法について ・農薬の取扱いについて	102人
8～9月	県内7か所 （鹿児島、南薩 北薩、姶良・伊佐、 大隅、熊毛、大島）	○農薬指導士更新研修会・農薬適正 使用推進研修会 ・農薬の適正使用について ・飛散防止対策について	362人

(イ) 農薬適正使用推進啓発活動

適正な農薬使用を指導する際に必要な事項を指針として定め、啓発用ポスター等を配付

また、農薬の使用機会が多い6月から9月までを農薬適正使用推進期間と設定し、農薬販売店、農薬使用者等に対して、農薬の適正で安全な使用等を推進

④ 農薬の販売・管理・使用に関する監視指導【経営技術課】

農薬販売店等への立入検査

区 分	総 数	立入検査	比率	備 考
販 売 店	1,332 件	32 件	2.4%	違反件数：5 件 内容：変更届等未提出
ゴルフ場	27 件	5 件	18.5%	
計	1,359 件	37 件	2.7%	

⑤ 肥料の生産や販売に関する監視指導【経営技術課】

(ア) 肥料の品質の確保等に関する法律に基づく適正な登録及び届出指導

区 分	肥料の区分	新規件数	備 考
生 産	普通肥料	4 件	県知事への登録分のみ
	特殊肥料	21 件	県知事への届出
販 売	—	38 件	県知事への届出

(イ) 生産業者及び販売業者への立入検査

区 分	総 数	立入検査	比率	備 考
生産業者	729 件	2 件	0.27%	違反件数：5 件 内容：変更届未提出 不適切表示
販売業者 (販売のみ)	1,922 件	17 件	0.88%	
計	2,651 件	19 件	0.71%	

⑥ 動物用医薬品の管理、販売等に関する監視指導【家畜防疫対策課】

動物用医薬品の販売業者の立入検査及び品質検査

区 分	調査件数	備 考
動物用医薬品使用実態調査（農場）	54 件	指導件数：1 件
動物用医薬品調査（店舗での販売含む）	101 件	指導件数：15 件
動物用医薬品精密検査（成分検査）	2 件	指導件数：0 件

⑦ 飼料の安全性確保に関する普及、監視指導【畜産振興課】

地区講習会及び指導等

区 分	調査件数	備 考
地区講習会	13 回	
巡回指導等	畜産農家 210 戸	
飼料の適正使用指導	延べ 270 戸	
県内の飼料販売業者等への立入検査	62 回	指摘事項：24 件

⑧ 水産用医薬品の適正使用の推進【水産振興課】

県内の魚類養殖業者及び漁協職員等に対し、「水産用医薬品について第38報（農林水産省消費・安全局発行）」に基づき、水産用医薬品の適正使用に関する研修会を開催（3回、出席者80人）



〈水産用医薬品講習会〉

ウ 環境保全への配慮

⑨ I P M（総合的病害虫・雑草管理）技術をはじめとした環境と調和した農業の普及推進【経営技術課】

（ア）I P M技術の実証

葉菜類やオクラの施設栽培での土壌還元消毒、オクラや豆類の露地栽培での天敵利用等による環境にやさしい栽培体系を実証

（イ）堆肥コンクールの開催

堆肥投入等による土づくりの重要性を再認識するとともに、良質堆肥づくりを促進するため、堆肥腐熟度判定研修会（6月16日 37人）及び堆肥コンクールを開催



〈堆肥腐熟度判定研修会〉



〈堆肥コンクール〉

⑩ 家畜排せつ物の適正処理と堆肥の利活用促進【畜産振興課】

（ア）家畜排せつ物の利用状況等を把握

畜産経営に起因する苦情発生状況調査や畜産有機物有効利用推進調査等を実施し、家畜排せつ物の利用状況等を把握

（イ）畜産農家に対する巡回指導

家畜排せつ物の適正処理や堆肥の利用活用について巡回指導（延べ111戸）

⑪ 自然環境や生産環境の保全に配慮した特用林産物の栽培方法及び肥料の適正な使用方法などの情報提供【森林経営課】

（ア）原木しいたけ・たけのこ生産者養成講座や栽培・経営指導

事 項	日 数	受講者数
かごしま原木しいたけ生産者養成講座	5 日	19 人
たけのこ生産者養成講座	3 日	16 人

（イ）栽培技術指針に基づいた情報提供

⑫ 県内養殖場の水質や底質の調査及び魚類養殖協議会や研修会を通じた漁場改善計画等の養殖指導【水産振興課】

- (ア) 養殖場環境調査（２回、水質・底質調査計 442 箇所）
養殖漁協の調査結果の報告を受け水質、底質の改善指導
- (イ) 魚類養殖協議会（１回）
漁場環境の正常化や健全な養殖業発展のための協議（２月２日）
- (ウ) 漁場改善計画の策定指導
適正養殖可能数量の設定等について指導（随時）

（２）製造・加工、流通・販売段階における監視指導の充実
・県食品衛生監視指導計画等に基づく監視指導や食品の検査

⑬ 施設への立入検査（監視指導）【生活衛生課】

食品の製造・加工施設への監視・指導

事 項	計 画	実 績	主 な 指 導 内 容
業態又は施設毎の標準的な立入回数	9,096 件	10,599 件	H A C C P に沿った衛生管理の運用状況等の確認及び必要な指導・助言

⑭ 食品等の検査【生活衛生課】

(ア) 食品添加物、成分規格、残留動物用医薬品、残留農薬その他検査

事 項	実 施 状 況	結 果 等
食品添加物、成分規格	846 件	
残留動物用医薬品、残留農薬等	374 件	
指導検査	2,734 件	
計	3,954 件	

(イ) 食肉の検査

事 項	実 施 状 況	結 果 等
と畜検査	2,382,924 頭	全部廃棄 2,832 頭(0.12%) [牛(276)、豚(2,552)、とく※(4)] 理由：敗血症、水腫、膿毒症、牛伝染性リンパ腫等、豚丹毒等
食鳥肉検査	163,874,253 羽	全部廃棄 1,662,695 羽(1.01%) 理由：大腸菌症、炎症等

※とく：生後 12 か月未満の子牛

⑮ 学校・社会保健福祉施設等集団給食施設の監視指導【保健体育課、生活衛生課】

(ア) 県衛生管理等研修会

時 期	場 所	内 容	参加者数
8月8日	カクイックス交流センター	・講義「鹿児島県の食中毒発生状況等について」 ・事例発表「安心安全な学校給食提供の取組について」等	365人

(イ) 学校給食の衛生管理等に関する調査研究の実施（5市町、7施設）

各学校給食施設の衛生管理等の改善充実を図るため、学校給食の衛生管理に関する指導者を学校給食施設へ派遣し、衛生管理状況の調査を行うとともに、衛生管理の徹底を図るための改善指導を実施。

(ウ) 学校給食用食品の食品検査

県立学校（抽出校3校）において、原材料及び加工品の3検体について、微生物検査、理化学検査を行い、学校給食用食品の安全性を確認。

(エ) 給食施設に対する監視指導

事 項	目 標	実 績
集団給食施設に対する監視指導	100% (監視指導計画)	95.4%

⑯ いわゆる健康食品による健康被害防止のための買上検査【薬務課】

いわゆる健康食品など、強壮効果及び痩身効果を目的として使用される製品について、インターネットで買上調査を行い、環境保健センターで医薬品成分及び指定薬物の含有について試験検査を実施。

事 項	検査品目数	医薬品成分及び指定薬物の検出
強壮剤	4品目	不検出
痩身剤	5品目	不検出

⑰ 水産物卸売市場における有毒魚介類等の流通監視【水産振興課、生活衛生課】

- ・卸売市場の実態調査及び監督指導 35市場
- ・流通が規制されているフグ等の情報収集・提供 35市場
- ・有毒魚介類、貝毒及び流通が規制されている魚介類の情報を収集し、水産物卸売市場等へ提供 35市場
- ・県食品衛生監視指導計画等に基づく監視指導や食品検査の実施

(3) 消費段階における安全性の確保

⑱ 食の安心・安全の確保に関する基礎的な知識や情報の周知

【生活衛生課、輸出・ブランド戦略室】

- ・食の安心・安全情報メールによる情報発信（食中毒予防等）（6回）
- ・食中毒注意報発令（1回）
- ・県政広報誌による情報発信（食中毒の予防）（2回）

(4) HACCPに沿った衛生管理の推進及び工程管理導入の促進

⑲ 食品関連事業者へのHACCPに沿った衛生管理の導入支援【生活衛生課】

衛生教育実績のうち、HACCPにかかる講習会の実施 154 回

⑳ 畜産関連施設への衛生管理ガイドライン等の徹底及びHACCP方式を活用した管理の普及【家畜防疫対策課】

- ・畜産農家の全戸立入による飼養衛生管理基準の遵守状況調査の実施

家畜	対象農場	立入農場
牛	5,600 件	3,231 件
豚	432 件	397 件
家きん	797 件	797 件

- ・HACCP方式を活用した管理の普及を各地域で実施
HACCP認証農場 11 農場
(内訳 豚：9 農場、採鶏卵：2 農場)

㉑ 衛生管理型の水揚施設の整備支援や自主的衛生管理への取組促進【水産振興課】

- ・衛生管理型市場の整備及び自主的衛生管理への取組についての助言 35 市場
- ・EUの衛生管理基準をクリアしたEU登録養殖場の監視・指導 5 か所

㉒ HACCP等高度な衛生管理手法に対応できる人材の育成【生活衛生課】

HACCPに係る助言等を行う食品衛生監視員講習会に食品衛生監視員を派遣 8 名

(5) トレーサビリティの推進

㉓ 米トレーサビリティ制度の適正運用

【輸出・ブランド戦略室、農産園芸課】

実 施 状 況 等	
米穀事業者等に対する研修会や実態調査等による「米トレーサビリティ制度」の普及啓発	
研修会	10 回 (271 人) [食品表示講習会等と併せて実施]
実態調査	12 件 (適正率 87.9%)

㉔ 茶れきくんの導入促進【農産園芸課】

トレーサビリティシステム等の推進状況

品目	実 施 状 況 等
茶	“茶れきくん”（県経済連による取組）の導入推進（297 工場） 生産履歴開示請求点数 24,031 点（R8.3 月） → 生産履歴報告平均日数 3 日

(6) 食の安心・安全の確保に向けた調査・研究等の推進

②⑤ 化学肥料や化学合成農薬の使用量の低減に必要な病虫害防除技術や施肥管理技術の開発等【経営技術課】

環境と調和した農業技術の開発

実施した研究の内容	実 績
混合堆肥複合肥料など 堆肥入り肥料の各作物への施用効果	各作物用（水稲用、園芸用等）に配合された堆肥入り肥料（指定混合肥料）の窒素肥効は速効的であり、慣行肥料と同等の収量・品質が得られ、化学肥料成分の使用量を3～24%低減できることを明らかにした。

②⑥ 水産用医薬品の使用低減のための養殖技術の開発【水産振興課】

外部寄生虫による疾病対策の研究

実施した調査研究の内容	実 績
モジャコ（ブリの幼魚）で発生した白点病対策への取組	令和5年度にモジャコ養殖で問題となった白点虫対策として、漁協及び養殖業者に対し巡回指導や講習会を実施し、本疾病に関する理解の向上に取り組んだ。あわせて、現地における早期発見体制の強化を目的として、顕微鏡を用いた白点虫の確認方法について技術指導を行い、漁協を中心としたモニタリング体制の構築に寄与した。

②⑦ 食品等に起因する様々な問題についての解決法や再発防止策を得るための調査・研究【生活衛生課】

食品等に関する調査・研究

調査・研修事例数	実 績
4 演題	1 演題は、全国食品衛生監視員研修会で発表 ・ 鹿児島県電子申請システムを活用した食中毒調査に係る症候学的調査等について

2 食品表示の適正化による消費者への的確な情報の伝達・提供

(1) 食品表示の適正化の推進

㊸ 食品表示関係法令の周知

【輸出・ブランド戦略室、生活衛生課、健康増進課、消費者行政推進室、計量検定所、薬務課】

(ア) 食品表示に関する法令の普及啓発のための食品関連事業者等に対する研修会
(食品表示法)

内 容	回 数
・食品表示法（品質事項）に関する研修会の開催、事業者主催の勉強会等への講師派遣	12 回
・食品表示法（保健事項）に関する研修会の開催、事業者主催の勉強会等への講師派遣	1 回
・衛生教育のうち、食品表示法（衛生事項）に関する講習会	106 回

(景品表示法)

・事業者向けコンプライアンス研修会

時 期	場 所	内 容	参加人数
2月5日	オンライン	景品表示法の基本的な考え方と違反事例及び鹿児島県での相談事例、品質事項	46 人

・事業者等からの講師派遣依頼への対応

内 容	回 数
景品表示法の講師派遣	0 回
計量法の講師派遣	0 回

(イ) 食の安心・安全情報メールによる周知（25 回／年）

㊹ 食品表示に関する相談対応

【輸出・ブランド戦略室、消費者行政推進室、生活衛生課、健康増進課、薬務課、計量検定所】

(ア) 食品表示 110 番の受付状況（消費者行政推進室）

事 項	件 数	内 容
食品表示 110 番	331 件	相談（322 件）、疑義（2 件）、苦情（7 件）、依頼（0 件）
食品表示指導員	2 回	研修会等への対応

(イ) 食品表示法（品質事項）に関する食品表示相談等への対応

(輸出・ブランド戦略室)

事 項	実 施 状 況
食品表示法（品質事項）に関する食品表示 相談等への対応	246 件 (相談 231 件、疑義 15 件)

(ウ) 食品表示法（衛生事項）に基づく食品表示状況（生活衛生課）

事 項	実 施 状 況
食品表示法（衛生事項）関係食品表示相談等への対応	57 件

(各保健所での相談件数を含まず)

(エ) 食品表示法（保健事項）及び健康増進法に関する相談等への対応
(健康増進課)

事 項	消費者	事業者	計
相談件数	0 件	137 件	137 件

(オ) 食品に対する医薬品的な効能効果の表示状況（薬務課）

区 分	相 談	監視指導	計
件 数	7 件	7 件	14 件

(カ) 景品表示法に基づく食品表示状況（消費者行政推進室）

区 分	件 数	内 容
相談等	44 件	優良・有利誤認表示等

(キ) 計量法に基づく食品表示状況（計量検定所）

区 分	相 談	情報提供	計
件 数	49 件	1 件	50 件

(2) 食品表示に関する監視、指導

③ 食品表示実態調査等の実施

【輸出・ブランド戦略室、消費者行政推進室、生活衛生課、健康増進課、薬務課、計量検定所、農産園芸課、畜産振興課、水産振興課、森林経営課】

(ア) 食品表示法（品質事項）に基づく食品表示実態調査

(輸出・ブランド戦略室)

事 項	実 施 状 況
食品関連事業者に対する食品表示実態調査	197 件（適正表示率 94.6%）

(イ) 食品表示法（衛生事項）に基づく食品表示状況（生活衛生課）

表示違反件数	違反の内容
0 件	—

(ウ) 計量法に基づく商品量目立入検査状況（計量検定所）

事 項	検査件数	検査個数	適 正 表示率 (%)	不適正表示の概要
スーパー等の内容 量 表 記 商 品（食 品 類）の立入検査 （権限移譲市を含む）	111 件	6,788 個	98.6%	表示量に対する許容 誤差を超えた内容量 の不足

* 検査件数は、検査店舗数

(エ) 景品表示法に基づく食品表示状況（消費者行政推進室）

区 分	件 数	内 容
指 導	2 件	優良誤認表示

(3) 消費者の理解促進

㊼ 消費者の食品表示に関する理解促進【消費者行政推進室、計量検定所】

- (ア) 食の安心・安全情報メール（食品表示及び景品表示法（食品関係）に関する情報等）を配信（2回）
- (イ) 商品量目調査会及び計量教室
商品量目調査会・計量教室（4回）

3 農林水産物の病気や害虫のまん延防止による食料の安定供給

(1) 各種疾病・病害虫等の発生防止対策の推進

③ 農作物栽培における病害虫の適期防除の推進【経営技術課】

(ア) 病害虫発生予察情報の発表

内 容	回 数
定期的な発生予報の発表	12 回
警報(0 回)、注意報(2 回)、特殊報(1 回)の発表	3 回
技術情報の提供	35 回

(イ) 各種広報媒体を活用した病害虫発生予察情報の発信

内 容	回 数
病害虫防除所ホームページ	年間
新聞（農作物病害虫情報）2 誌	24 回
電話（病害虫防除情報テレホンサービス）	5 回

③ 家畜の各種疾病の発生動向の把握、防疫指導、検査等の実施【家畜防疫対策課】

(ア) 家畜の各種疾病の実態調査

家畜の各種疾病の発生状況を把握

（抗体検査や立入検査、病性鑑定を実施（通年））

内 容	件 数
家畜伝染病の発生	1 件
届出伝染病の発生	621 件

(イ) B S E 検査等の実施

- ・ B S E 対策特別措置法に基づく検査

死亡牛の B S E 検査の実施状況：9 頭

- ・ 高病原性鳥インフルエンザ発生防止対策

高病原性鳥インフルエンザモニタリング調査の実施状況：延べ 86 戸

④ 魚病の防疫指導及び各種疾病の実態調査【水産振興課】

(ア) 魚病の防疫指導（養殖用輸入種苗の監視）

輸入種苗の導入後の魚病検査

内 容	回数及び尾数
巡回指導及び講習会	37 回
検査実績	93 尾

※寄生虫について、腹腔内の胃周辺部を中心にアニサキスの有無を検査したが、アニサキス等の人へ直接的な害を与える寄生虫や細菌はみられなかった。

(イ) 魚病の防疫指導（各種疾病の実態調査）と水産用医薬品の適正使用の推進 魚病診断、巡回指導

内 容	回数及び件数
巡回指導実績	33 件（県内漁協及び養殖事業者等）
魚病診断件数	435 件（海面養殖：308 件、内水面養殖：127 件）

(ウ) 水産用医薬品の適正使用研修

内 容	回 数
水産用医薬品の適正使用に関する研修会 （対象：養殖業者及び漁協職員）	3 回

(2) 危機管理体制の整備

- ③⑤ ・ 各種疾病等に関する危機発生事案ごとのマニュアルに基づく対応
・ 平時からの情報の共有化や連携の強化による事案発生の未然防止と事案発生時の迅速かつ適切な対応【家畜防疫対策課、経営技術課、消費者行政推進室】

口蹄疫、豚熱及び高病原性鳥インフルエンザといった、万が一、発生すると地域社会に大きな影響を及ぼす家畜伝染病については、発生時の防疫対策等を定めた防疫対策マニュアルを策定し、迅速な初動防疫対応が行えるよう防疫演習を実施。

また、防疫対策会議の随時開催やメールマガジンによる発生情報の提供等により、関係者に注意喚起を行うことで防疫意識の共有を図るとともに、県内において家畜伝染病の発生又は発生のおそれがある場合に、迅速、適確な防疫業務が実施できるよう、県関係機関における動員体制の構築や、関係団体と緊急防疫業務等に関する協定を締結

内 容	回 数	人数
防疫対策会議（高病原性鳥インフルエンザ）	15 回	406 人
防疫対策会議（豚熱等）	24 回	880 人
防疫演習（口蹄疫）	12 回	296 人
防疫演習（高病原性鳥インフルエンザ）	19 回	902 人
防疫演習（豚熱）	18 回	653 人

高病原性鳥インフルエンザについては、国内においては令和 7 年 10 月 22 日に北海道で初めて発生して以降、3 月 31 日までに 14 道府県 23 事例発生し、約 553 万羽が殺処分対象となった。本県においては、令和 7 年度の発生はなし。

豚熱については、野生イノシシにおける感染が、令和 7 年 11 月 19 日に本県で初めて確認され、3 月 31 日までに、14 例確認された。関係機関と連携して、野生イノシシへの豚熱経口ワクチン散布を実施し、県内の 279 地点に 6,920 個を散布した。

また、ミカンコミバエについては、令和 7 年度は 7 市町村で合計 26 匹の雄成虫が誘殺され、下甕島や三島村においては、寄生果も確認された。迅速な初動対応に取り組んだ結果、ミカンコミバエの定着は確認されていない。

あわせて、主にウリ科等の果実を中心とした複数品目に重大な被害を及ぼすセグロウリミバエの国内での初確認が、沖縄県および本県で認められた。令和 7 年 3 月 17 日に伊仙町で初誘殺されて以降、令和 8 年 3 月 16 日までに奄美地域の 11 市町村において誘殺されている。また、与論町、知名町等の 7 市町村で寄生果実が確認され、初動対応として、ウリ科植物等の除去や農薬散布等の防除対策に重点を置き、県内への定着・まん延防止に取り組んでいる。

4 県民をはじめとした関係者との情報・意見交換と信頼の確保

(1) 食の安心・安全の確保に向けた生産者・食品関連事業者の取組に関する情報発信

③⑥ かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）の認知度向上

【輸出・ブランド戦略室】

- (ア) エックス等SNSを活用した制度の周知
 - ・発信回数：12回
 - ・投稿内容：K-GAP認証状況及び認証品目の紹介
- (イ) K-GAP認証品のPR協力店の登録拡大
 - ・K-GAPをPRする協力店の登録を推進（317店舗）

③⑦ かごしまブランド産品をはじめとした県産農畜産物の認知度向上に向けた取組

【輸出・ブランド戦略室】

- ・かごしまブランド産品等の販売促進活動

内 容	取 組 概 要
① 宣伝販売	○県内外の販売指定店における県産農産物の販売促進活動（16社）
② 高級果物店と連携したPRイベント	○かごしまブランド産品「大将季」や「パッションフルーツ」「マンゴー」等の宣伝販売 ○フルーツパーラーやレストラン等でのメニューの提供
③ 調理師専門学校等と連携したPR	○生徒に対する県産農畜産物の紹介、調理実習や新メニューの開発・発表、野菜ソムリエ向け研修会等（東京、京都、福岡）
④ 「和牛日本一」鹿児島黒牛レストランフェア等でのPR	○首都圏の高級ホテル・スーパーでの「和牛日本一鹿児島」フェアの開催（2社） ○ホテルシェフによる産地視察（1社） ○同ホテルでの知事トップセールスによる県産農畜産物のPR
⑤ GI登録産品のPR	○鹿児島の壺造り黒酢、桜島小みかん、鹿児島黒牛、辺塚だいたい、えらぶゆり、種子島安納いも、種子島レザーリーフファン、枕崎鰹節、指宿鰹節

- ・「かごしまの食ウェブサイト」を活用した「かごしまブランド産品等」の情報発信

内 容	回 数
農産物の出荷等の産地情報や量販店でのフェア等のイベント情報	44回

③⑧ 「かごしま畜産の日」の活動を通じた生産者と消費者の相互交流、理解促進

【畜産振興課】

体験学習会や出前授業等

内 容	回 数	人 数
かごしまの畜産体験学習会	1回	55人
かごしまの畜産出前授業	14回（5月～2月）	498人
県産畜産物の安心・安全のPRと消費拡大キャンペーン等	1回	不明



〈出前授業〉
(鹿児島市)



〈体験学習会〉
(出水市)

③ 「かごしまのさかな」ブランド認定魚の認知度向上【水産振興課】

各種フェア等でのPR

内 容	月 日
・鹿児島フェア（埼玉・量販店）	4月2日～4月6日
・鹿児島フェア（神奈川・レストラン）	10月1日～11月30日
・鹿児島フェア（京都・量販店）	10月10日～10月13日
・種子島・屋久島地魚フェア（熊毛・レストラン）	11月1日～11月30日
・長島町ブリフェア（沖縄・量販店）	12月20日～21日
・鹿児島フェア（千葉・量販店）	2月12日～2月16日
・鹿児島フェア（宮城・量販店）	2月20日～2月23日
・焼酎×魚フェア（鹿児島市・イベントスペース）	2月28日～3月11日
・鹿児島フェア（九州各県）	3月20日～3月22日

④ 安心・安全な特産林産物の認知度向上【森林経営課】

(ア) 各種フェア等を通じたPR・普及

内 容	月 日
・旬の大名タケノコ・ニガタケリレーフェア	5月16日～6月29日
・かごしま原木しいたけフェア	10月15日～10月17日
・森のごちそうコンクール	11月15日
・かごしま原木しいたけ・たけのこ祭	12月20日～12月21日



〈かごしま原木しいたけフェア〉



〈森のごちそうコンクール〉

(イ) 学校給食への食材提供及び学習活動

しいたけ・たけのこを、小中学校等へ学校給食の食材として提供するとともに栽培方法等の学習活動を実施（食材提供_霧島市内1校）

④① 食品関連事業者の食の安心・安全に対する取組の情報発信

【輸出・ブランド戦略室】

食の安心・安全情報メールを活用した食品関連事業者の取組の情報発信
(食の安心・安全情報メールによる情報発信 25回/年)

(2) 食の安心・安全の確保の推進を担う人材の育成

④② 地域における食の安心・安全の確保に係る正しい理解の浸透に寄与する人材の育成

【輸出・ブランド戦略室】

食の安心・安全推進パートナー募集・登録のため、県ホームページへの掲載や各研修会においてチラシを配付

(食の安心・安全推進パートナー※ 1,226人)

※食の安心・安全の確保に関心のある団体・企業・個人で県に登録した者

④③ 農業者や食品関連事業者など食の安心・安全の確保を図る人材の育成

【輸出・ブランド戦略室】

農業者や食品加工事業者等を対象に「食Pro. 食の人材育成セミナー」を開催し、農産物加工の基礎技術をはじめ、農薬の適正管理や食品の衛生管理、適正な食品表示方法などを講義し、人材を育成

(食Pro. 食の人材育成セミナーの開催 20人)

(3) 健康への被害(まん延)防止対策

④④ 自主回収報告制度を活用した健康被害防止対策【生活衛生課】

自主回収報告受理件数	内 容		21
		表示の誤り	8
		成分規格違反	3
		その他	10

④⑤ 感染症対策など健康被害防止情報をはじめとする各種情報の収集及び整理と正確かつ適切な情報の提供【生活衛生課、消費者行政推進室、感染症対策課】

- ・消費者安全法等に基づく消費者事故や重大事故等の情報収集及び情報提供
- ・県ホームページによる情報提供(食中毒関連情報等)
- ・食品衛生情報リーフレットの作成・配布
- ・県感染症情報による情報提供

(4) リスクコミュニケーションの推進

④⑥ ・食の安心・安全の確保に関する基礎的な知識や情報の周知

- ・生産者、食品関連事業者、県民その他の関係者間における情報の共有と意見交換の場の提供

【輸出・ブランド戦略室、経営技術課、生活衛生課、消費者行政推進室】

(ア) GAP & 食の安心・安全セミナー(輸出・ブランド戦略室)

時 期	場 所	内 容	参加者数
2月19日	HITTOBE (オンライン 配信併用)	講演 ①「リンガーハットの経営理念と国産野菜使用 の取り組み」 杉野 隆宏氏((株)リンガーハット) ②「食の安全をどう守るか?~残留農薬を事	73人 (うちオン ライン54 人)

		例に解説します～」 松永 和紀氏（科学ジャーナリスト） パネルディスカッション テーマ「みんなで話し合おう、食の安心・安全」 パネラー ・杉野 隆宏氏（（株）リンガーハット） ・松永 和紀氏（科学ジャーナリスト） ・有村 司氏（一里原園芸組合） ・有山 まり子氏（消費生活アドバイザー）	
--	--	---	--

（イ）有機農業に関する研修会（経営技術課）

時 期	場 所	内 容	参加団体
7 月 29 日	鹿児島市	有機農業等に係る取組報告会 ・有機農業の推進（南九州市） ・施設ピーマンにおける IPM の取組（JA そお鹿児島ピーマン専門部会） 等	30 人 （オンライン）

（ウ）食の安全を学ぶ基礎講座

農林水産物等食品の安全を守る仕組み等、食の安心・安全の確保に関する基礎知識を学ぶ短大生を対象とした基礎講座の開催

時 期	場 所	内 容	参加者数
11 月 28 日	鹿児島県立短期大学	・食品の安全性と人々の健康を守るために	50 人

（エ）食品衛生責任者養成講習会

開催時期	場所・回数	内 容	参加者数
4 月 ～ 3 月	県内 12 か所 （日置市、南さつま市、指宿市、薩摩川内市、出水市、霧島市、伊佐市、鹿屋市、西之表市、屋久島町、奄美市、徳之島町） 計 31 回	・食品衛生学 ・食品衛生法 ・公衆衛生学 ・食品表示	1,349 人



〈GAPセミナー〉



〈食の安全を学ぶ基礎講座〉

④⑦ 正確な情報の伝達や情報の共有及び意見交換を自主的に行う取組の推進
【輸出・ブランド戦略室、消費者行政推進室】

食の安心・安全推進パートナーが自主的に取り組む「地域リスクコミュニケーション」への支援

時 期	実施主体 (食の安心・安全推進パートナー)	場 所	内 容	参加者
10月26日	NPO法人 霧島食育研究会 (霧島市)	瀬々串校区 公民館	地域食材の生産・加工・食文化 におけるリスクコミュニケーション研修	20人
12月8日	海老原純一氏 (鹿児島市)	いちき 串木野市	鹿児島の農産物・食品における 安心・安全の取り組みを知る	25人

(5) 健康増進に関する施策との連携

④⑧ 健康かごしま21の推進【健康増進課】

・適切な食生活習慣の普及・定着

生活習慣病予防（生活習慣の改善）を呼び掛ける啓発用動画作成
 SNS等（YouTube、Instagram、TVer）で配信

・産業界との連携による食環境の整備

「食塩少なめ」「脂質控えめ」「野菜たっぷり」で家庭用レシピを掲載した「かんたんヘルシー減塩レシピ集」を情報メールやホームページ掲載により紹介した。

(ア) 食の健康応援店の登録を推進

かごしま食の健康応援店登録店舗数 725 店舗

(イ) 食生活改善推進員による栄養・食生活に関する普及啓発
 普及啓発の人数 17,851 人

(6) 食育に関する施策との連携

④⑨ 「家庭」、「学校、保育所等」、「地域」における食育の推進
【輸出・ブランド戦略室】

事 項	実 施 状 況
食育支援体制における食育支援	支援実施校(幼稚園、保育園、小中学校等) 86校(4,575人)、支援回数 147回
食と農の指導者研修	52人
かごしま版食事バランスガイドの普及	各種研修会等での普及啓発
食育アドバイザーの登録・紹介	6人登録、1回紹介
かごしま生き生き食の日のPR (毎月第3土曜日)	県HPやSNS等でのPR
市町村食育推進計画の策定促進	41市町村策定



〈食と農の指導者研修〉



〈小学校等での農業体験活動〉

5 食の安心・安全の確保に向けた推進体制の整備

(1) 「鹿児島県食の安心・安全推進委員会（企画推進部会）」の運営

⑤0 基本計画等の進捗状況の評価 【輸出・ブランド戦略室】

施策の進捗状況について、県食の安心・安全推進委員会（企画推進部会）において、評価・点検を行い、県ホームページにて公表した。

- (ア) 県食の安心・安全推進委員会企画推進部会の開催（令和7年7月31日開催）
 - ・第3次県食の安心・安全推進基本計画の令和6年度実施状況及び令和7年度実施計画について
 - ・第4次県食の安心・安全推進基本計画の策定について
 - ・令和7年度県食品衛生監視指導計画について
 - ・環境保全型農業直接支払交付金事業について
- (イ) 県食の安心・安全推進委員会の開催（令和7年10月17日、令和8年2月6日開催）
 - ・第4次県食の安心・安全推進基本計画について

(2) 危機管理体制の整備

⑤1 ・食に関する危機発生事案ごとのマニュアル等に基づく対応

- ・ 平時からの情報の共有化や連携の強化による事案発生の未然防止と事案発生時の迅速かつ適切な対応 【生活衛生課、健康増進課、薬務課、消費者行政推進室、輸出・ブランド戦略室】

- (ア) 他自治体における発生事案情報の共有化
- (イ) 消費者安全法等に基づく消費者事故や重大事故等の情報収集及び情報提供

(3) 国、他の都道府県、市町村その他の関係機関・団体との連携

- ⑤2 ・ 内閣府食品安全委員会、消費者庁、厚生労働省、農林水産省など国との連携や他都道府県との連携
- ・ 県内市町村等との連携 【輸出・ブランド戦略室、生活衛生課】

「九州・山口地域食の安全安心連携会議」（大分県）等による情報収集や連携
開催日：令和7年8月27日（書面開催）

「第3次鹿児島県食の安心・安全推進基本計画」（令和3年度～令和7年度）

数値目標に対する令和7年度実績等（R8.3月末時点）

令和7年度 目標達成数： 29／60 項目

基本施策	取組内容	指標数	参考となる指標	実績(R3)	実績(R4)	実績(R5)	実績(R6)	実績(R7)	目標(R7)	目標対比 (実R7/目R7)
1 農場から食卓までの安全管理の徹底を通じた食品の安全性の向上	①	1	〇かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）における認証件数	305件	311件	293件	297件	267件	320件 以上	83 %
	②	2	〇JGAP等認証取得件数	236件	241件	231件	225件	232件	190件 以上	122 %
		3	〇JGAP畜産の認証取得経営体数	14件	14件	12件	11件	11件	44件 以上	25 %
	③	4	〇農薬販売店における農薬指導士設置割合（農薬指導士数/農薬販売店数）	54.9%	51.7%	44.9%	48.2%	50.1%	80% 以上	63 %
	④	5	〇農薬販売店における農薬指導士設置割合（農薬指導士数/農薬販売店数）【再掲】	54.9%	51.7%	44.9%	48.2%	50.1%	80% 以上	63 %
		6	〇農薬販売店等への立入検査における違反件数割合	33.3%	10.0%	24.5%	18.2%	13.5%	10% 以下	－ %
	⑤	7	〇肥料法違反件数	13件	5件	2件	5件	5件	0件	－ %
	⑥	8	〇動物用医薬品使用実態調査の実施状況	33件	25件	36件	51件	54件	80件 以上	68 %
		9	〇医薬品調査の指導状況（動物用医薬品販売業者等の許可数に対する割合）	59%	39%	37%	31%	40%	50% 以上	80 %
	⑦	10	〇飼料の製造・販売及び使用等に関する立入検査・巡回点検指導件数（飼料製造・販売業者等に対する割合）	245件 (2.6%)	255件 (2.9%)	262件 (3.1%)	257件 (3.2%)	272件 (3.6%)	301件 (4.4%) 以上	90 %
		11	〇飼料の製造・販売等の不適正な事例件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	100 %
	⑧	12	〇水産用医薬品適正使用指導等研修会の開催回数	2回	6回	2回	6回	3回	3回 以上	100 %
	⑨	13	〇露地オクラ栽培におけるIPM技術（土着天敵利用）の取組面積（対象：JAいぶすき管内）	44ha	45ha	53ha	51ha	51ha	60ha 以上	85 %
	⑩	14	〇県畜産有機物有効利用推進調査による家畜排せつ物の利用状況（適正処理仕向率）	94.0%	93.6%	94.2%	95.1%	未確定	98.0% 以上	－ %
	⑪	15	〇たけのこ生産者養成講座の開催回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回 以上	100 %
		16	〇かごしま原木しいたけ生産者養成講座の開催回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回 以上	100 %
	⑫	17	〇漁場環境調査の実施状況	99%	100%	98%	96%	86%	100% 以上	86 %
	⑬	18	〇標準的な立入回数を設ける業種（施設）への監視指導（毎年度策定した計画に基づく達成率）	113%	118%	109%	115%	117%	100% 以上	117 %
	⑭	19	〇食品の添加物、成分規格基準、残留動物用医薬品、残留農薬などの検査（毎年度策定した計画に基づく達成率）	88%	80%	125%	94%	85%	100% 以上	85 %
	⑮	20	〇給食施設に対する監視指導（毎年度策定した計画に基づく達成率）	26.3%	31.6%	56.9%	58.0%	95.4%	100% 以上	95 %
	⑯		〇いわゆる健康食品買上検査の継続実施	数値目標なし						
	⑰	21	〇水産物卸売市場への実態調査	35件	35件	35件	35件	35件	36件 以上	97 %

基本施策	取組 内容	指標 数	参考となる指標	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	実績 (R7)	目標 (R7)	目標対比 (実R7/目R7)
1 農場から食卓までの安全管理の徹底を通じた食品の安全性の向上	⑮	22	○各種広報媒体を活用した情報発信回数 (食品の衛生管理等に関する知識や情報)	11回	4回	5回	9回	8回	4回 以上	200 %
	⑯	23	○HACCP制度普及のための講習会実施回数	135回	163回	146回	153回	154回	82回 以上	188 %
	⑳	24	○飼養衛生管理基準立入検査の実施状況 (対象農場に対する割合)	6,314戸 (73%)	5,777戸 (69%)	5,631戸 (71%)	5,369戸 (74%)	4,425戸 (64%)	全戸 (100%)	64 %
		25	○HACCP認証農場数	21農場	22農場	22農場	14農場	11農場	25農場 以上	44 %
	㉑	26	○水揚施設の衛生管理状況実態調査	36件	35件	35件	35件	35件	36件 以上	97 %
	㉒		○HACCP等高度な衛生管理手法に対応できる人材の育成	数値目標なし						
	㉓	27	○米トレーサビリティ制度の普及啓発 (研修会開催)	0回	9回	10回	11回	10回	2回 以上	500 %
		28	○食品表示実態調査における適正率 (米穀等)	99.5%	93.9%	95.6%	76.4%	87.9%	100%	88 %
	㉔	29	○茶れきくんの県内茶工場導入率	72.4%	74.6%	74.1%	75.9%	82.5%	72.5% 以上	114 %
	㉕	30	○環境と調和した農業の推進を支えるために確立した技術数	6件/年	5件/年	4件/年	8件/年	5件/年	8件/年 累計40件 以上	63 %
2 食品表示の適正化による消費者への的確な情報の伝達・提供	㉖	31	○医薬品使用低減に向けた養殖技術に関する講習会の実施回数	2回	6回	2回	6回	3回	3回 以上	100 %
	㉗	32	○食品等に起因する様々な問題についての調査・研究事例数	6題	4題	5題	5題	4題	4題 以上	100 %
	㉘	33	○食の安心・安全情報メール等を活用した情報発信件数	24回	24回	25回	25回	25回	24回 以上	104 %
	㉙		○食品表示に関する相談対応	数値目標なし						
	㉚	34	○食品表示法(品質事項)に基づく食品表示の適正表示率	92.7%	94.6%	92.4%	91.2%	94.6%	100%	95 %
		35	○商品量目立入検査の検査個数	6,542個	7,261個	7,658個	7,269個	6,788個	7,700個 以上	88 %
3 農林水産物の病気や害虫のまん延防止による食料の安定供給	㉛	36	○商品量目調査会及び計量教室の実施	0自治体	5自治体	3自治体	5自治体	4自治体	5自治体 以上	80 %
		37	○食の安心・安全情報メール等を活用した情報発信件数【再掲】	24件	24件	25件	25件	25件	24件 以上	104 %
	㉜	38	○トビイロウンカの被害面積	0ha	0ha	0ha	0ha	0ha	10ha 以下	100 %
		39	○死亡牛のBSE検査の実施状況	対象牛全頭	対象牛全頭	対象牛全頭	対象牛全頭	対象牛全頭	対象牛全頭	100 %
		40	○高病原性鳥インフルエンザ等に関するモニタリング検査の実施状況	対象農家全戸	対象農場全戸	対象農場全戸	対象農場全戸	対象農場全戸	対象農家全戸	100 %
	㉝	41	○養殖衛生管理指導を行った養殖経営体数(割合)	49%	58%	74%	77%	76%	75% 以上	101 %
		42	○防疫演習の実施件数(口蹄疫、豚熱、高病原性鳥インフルエンザ等)	18件	30件	39件	22件	29件	20件 以上	145 %
		43	○ミカンコミバエ定着市町村	0市町村	0市町村	0市町村	0市町村	0市町村	0市町村	100 %

基本施策	取組 内容	指標 数	参考となる指標	実績 (R3)	実績 (R4)	実績 (R5)	実績 (R6)	実績 (R7)	目標 (R7)	目標対比 (実R7/目R7)
4 県民をはじめとした関係者との情報・意見交換と信頼の確保	㊸	44	○エックス（旧ツイッター）の投稿回数	12回	3回	10回	12回	15回	12回 以上	125 %
	㊹	45	○「かごしまの食ウェブサイト」を活用した情報の発信件数	770件	813件	882件	951件	1017件	870件 以上	117 %
	㊺	46	○かごしまの畜産体験学習会・出前授業の開催回数	11回	12回	12回	14回	15回	10回 以上	150 %
		47	○県産畜産物の安心・安全のPRと消費拡大キャンペーン等の開催回数	0回	2回	2回	2回	1回	1回 以上	100 %
	㊻	48	○「かごしまのさかな」認知度向上にかかる、展示会等における啓発取組回数	6回	5回	5回	10回	9回	11回 以上	82 %
	㊼	49	○食の安心・安全情報メール等を活用した情報発信件数【再掲】	24件	24件	25件	25件	25件	24件 以上	104 %
	㊽	50	○食の安心・安全情報メール等を活用した情報発信件数【再掲】	24件	24件	25件	25件	25件	24件 以上	104 %
	㊾	51	○食の安心・安全推進パートナーシップ制度への登録者数	1,165人	1,185人	1,201人	1,218人	1,226人	1,500人 以上	82 %
	㊿	52	○食のプロデューサー育成セミナー参加者数※R5～上記に準ずるセミナーへの参加者数	0人	18人	26人	27人	20人	30人 以上	67 %
	㋀		○自主回収報告制度を活用した健康被害防止対策	数値目標なし						
	㋁	53	○食の安心・安全情報メール等を活用した情報発信件数【再掲】	24件	24件	25件	25件	25件	24件 以上	104 %
	㋂	54	○食の安心・安全情報メール等を活用した情報発信件数【再掲】	24件	24件	25件	25件	25件	24件 以上	104 %
		55	○セミナー等への参加者数（リスクコミュニケーションの推進）	2,243人	1,880人	1,925人	2,145人	1,399人	2,400人 以上	58 %
	㋃	56	○地域におけるリスクコミュニケーションに関する研修会等の開催回数	1回	1回	2回	2回	2回	2回 以上	100 %
	㋄	57	○1日当たりの食塩の平均摂取量	9.9g (H29)	9.9g (H29)	10.2g (R4)	10.2g (R4)	10.2g (R4)	7g (R15) 以下	— %
		58	○1日当たりの野菜の平均摂取量	291g (H29)	291g (H29)	271.4g (R4)	271g (R4)	271g (R4)	350g (R15) 以上	— %
		59	○かごしま食の健康応援店	758店舗	754店舗	721店舗	725店舗	725店舗	800店舗 (R15) 以上	91 %
	㋅	60	○意識して県産農林水産物を購入する人の割合	79.1%	80.9%	84.4%	79.2%	77.1%	90.0% 以上	86 %
5 食の安心・安全の確保に向けた推進体制の整備	㋆		○施策の進捗状況の評価	数値目標なし						
	㋇		○危機管理体制の適正運用	数値目標なし						
	㋈		○国等との連携強化	数値目標なし						